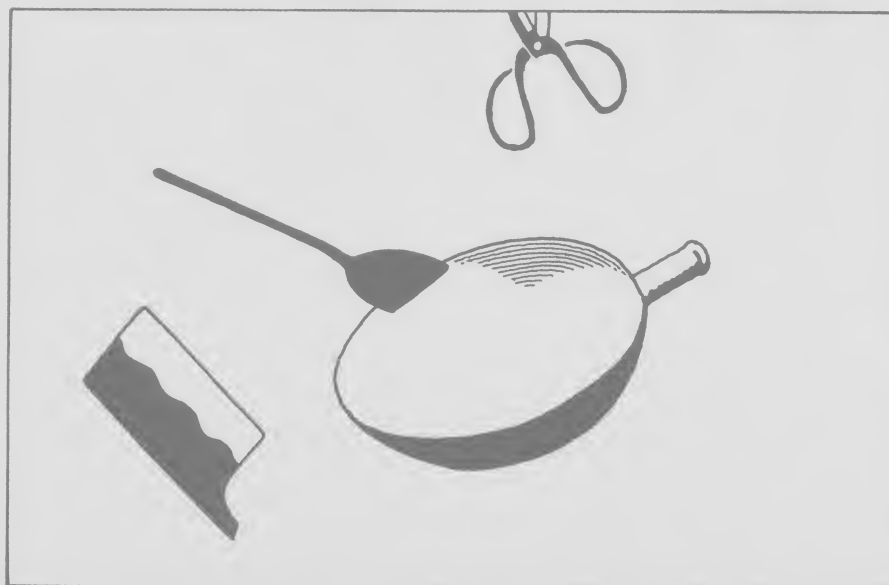
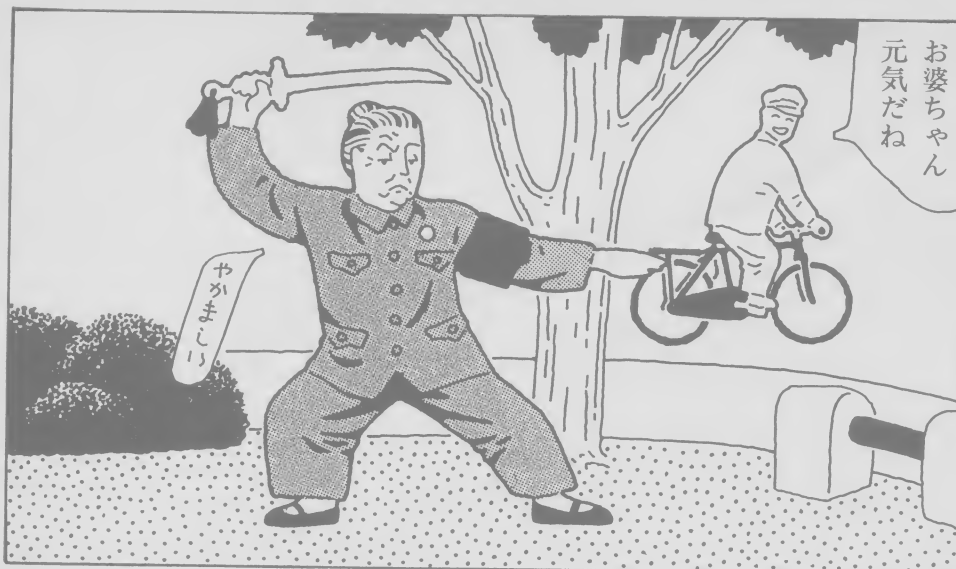
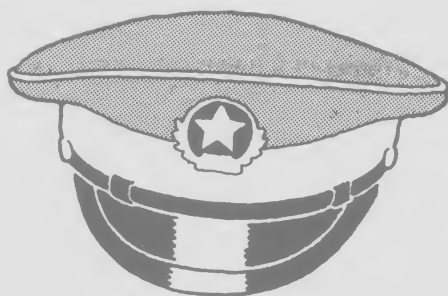
驚天動地プロレタリア文化大革命巨編
中国的小丸子懐旧漫画

紅い老婆

ひさうちみちお

李さんちのお婆さんは毛主席の発動する大衆運動のとても熱心である

十年前の反右派闘争の時も二軒隣の気の合わない陳さんのお宅に対して「腐ったインテリ臭がくさくてメシがまずくなる」と告発したし

大躍進の時も雑院(長屋)の中で一番早く土法炉(個人が製鉄鋼する小型炉)を造り、それに鍋、釜をほおりこんで使いものにならないクズ鉄を生産した

ファッションも紅衛兵に負けじとカーキの人民服に自分で勝手に作った紅い腕章をまいている

しかしなによりも彼女を闘士たらしめているのは頭の上の小さな髷にチョコンと乗せている玩具の軍帽であった

普段は乗せてないが階級的熱血が騒ぐ時にはビンッと決めて闘争に出向くのである

子供用だから髷の上に乗せるのがちょうど良い

語録は持ち歩くのが面倒なので時々不携帯

一応、紅い腕章だけどさすがに紅衛兵の文字は入れなかった

バッジはたくさん持ってるけど硬派なのでいっぱいつけたりしない。左の胸に一つこれが正しい

李さんのお婆さんがこのように熱心に階級闘争する理由の一つに彼女の汚れなき家系、出身があります

痛むテンソクの足を引きずりながら知り合いの家にもの乞いに行く母のうしろ姿を彼女は忘れられないのでした

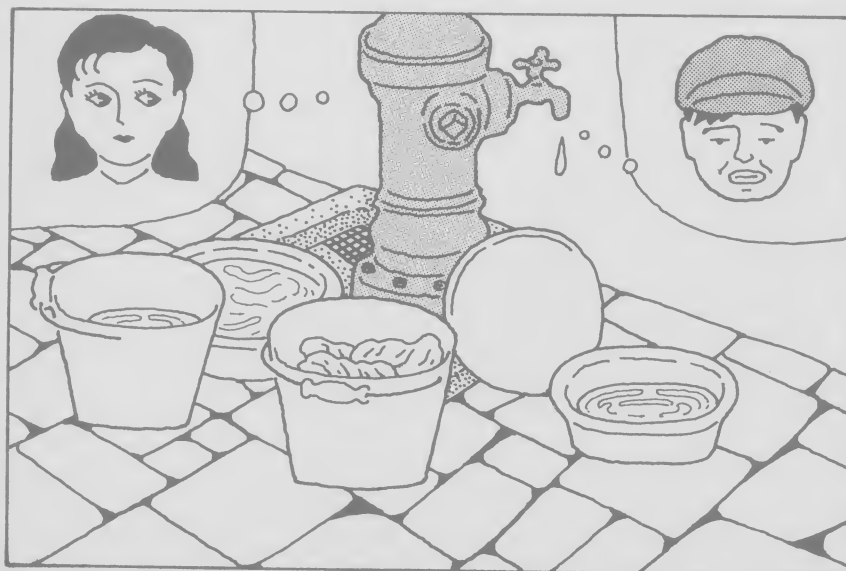
お婆さんのお母さん

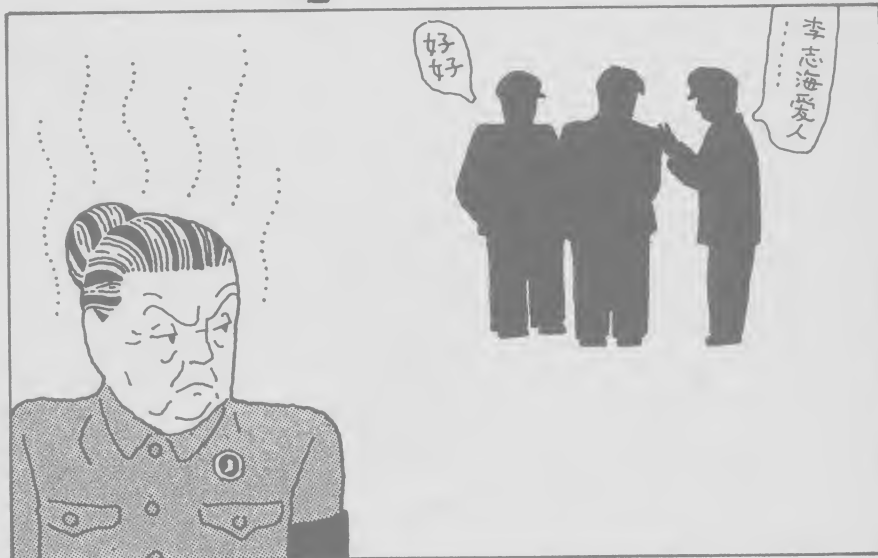
子供の頃のお婆さん

お婆さんの生まれた家はあらうが如き赤貧の小作農でしたし当然学校も行ってません。お金もない教育も受けてない純粋に優秀な階級でした

しかも御主人は対日解放戦争で八露軍兵士として戦死されました。貧乏で無学な上に御主人が烈士とくれればもう恐いものがないくらいに偉いのであります

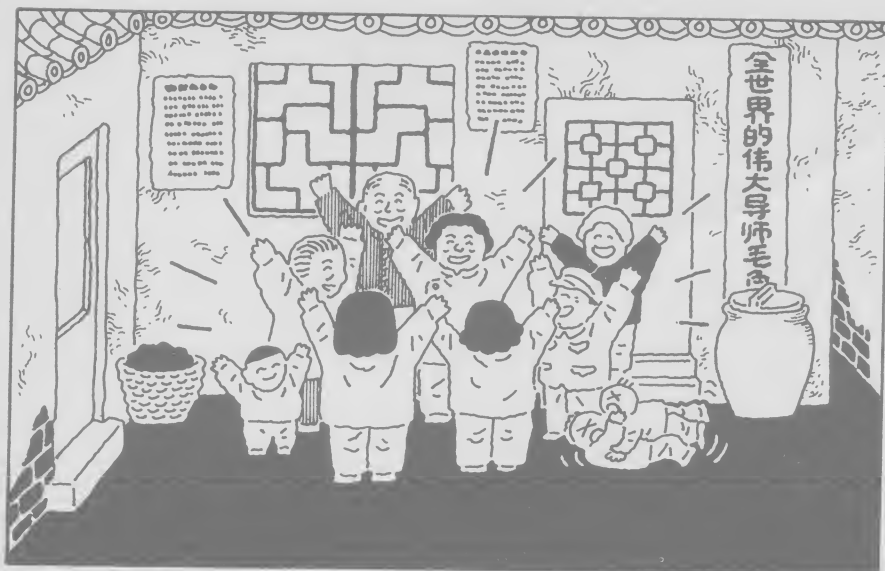
それほどの条件のそろったエリート家庭でありながらお婆さんの一人息子の志海さんは共産党の党員になる事が出来ません

それは志海さんの奥さんの家系に問題があるからだろうとお婆さんは信じています。奥さんの美玲さんのお父さんは昔、少しだけですが国民党軍の兵士だったとゆう噂があるのです

近所の井戸端会議では時々この議題がとりあげられます。あまりパッとしない志海さんのところへ若くてきれいな美玲さんが嫁に来たのは彼女の黒い家系のせいだと結論がでているのです

彼女の美貌はおばさん連中にはやっかみの種ですが若い男達にはそれ故に人気がありました。彼女は美しいだけでなく愛想も良いのです

それで彼女が男達にもてはやされると李さんのお婆さんは自分の息子がないがしろにされているようでますます面白くないのでした

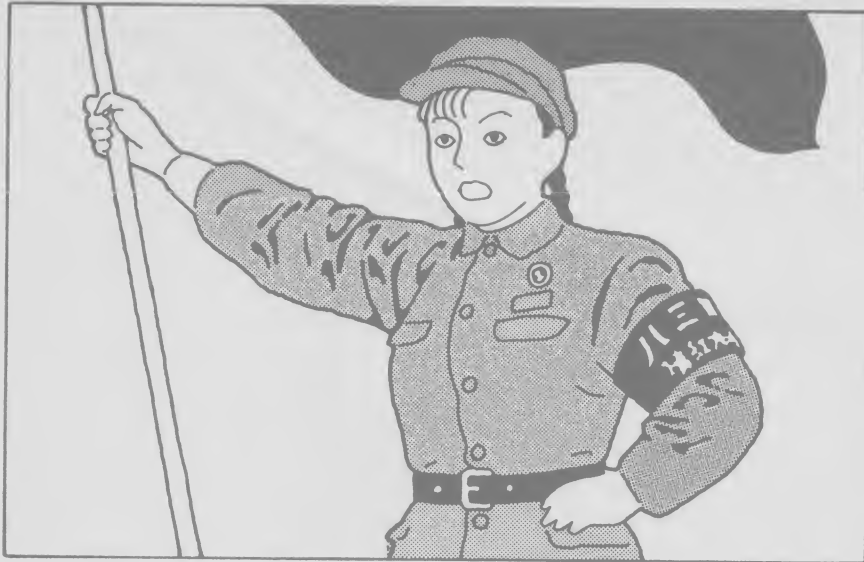
そんなある日お婆さんはとうとう批判集会を開いて嫁を糾弾する決心をしました

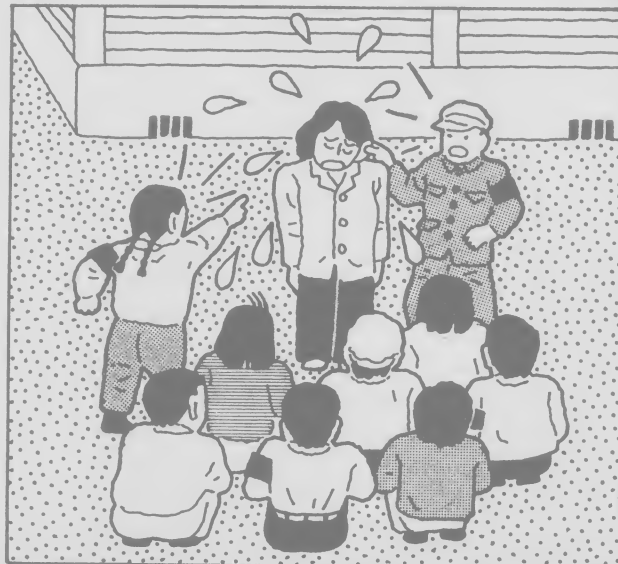
居民組（隣組）の人民調停委員をしている盧さんに相談すると街道弁事処の主任が各居民組ごとに文革を盛り上げる集会を開くよう指示しているからちょうど良いのではないかとゆう話でした

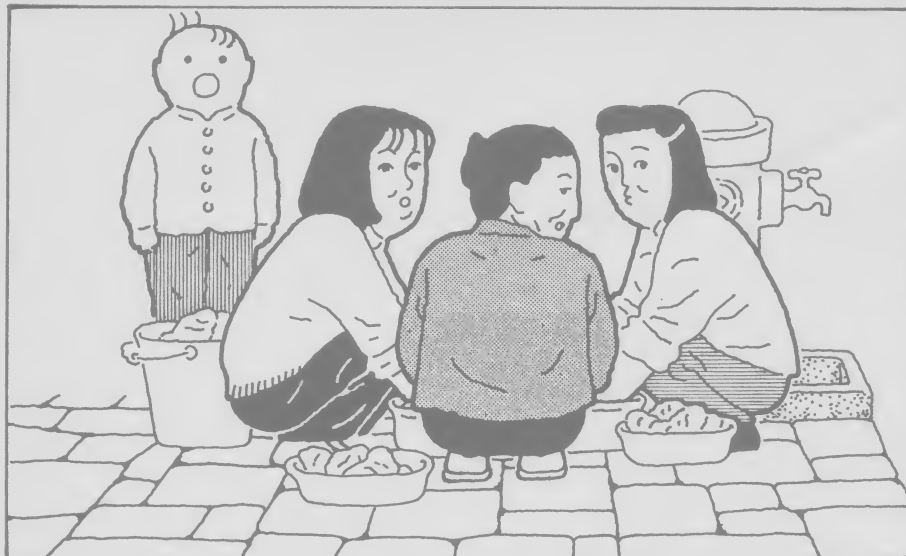
中学生の書いたような大字報（壁新聞）を雑院の壁に貼りつけてやみくもに万歳となえているより具体的な闘争目標があって実際に個人を攻撃する方が盛り上がるに決まってる

自分の企画がすっかり気に入ったお婆さんは早速闘争に備えての足場固めにかかりました。当日彼女と一緒に嫁を批判してくれそうなおばさん達を訪ねて「ひとつよろしく」とゆうわけです。革命するにも根まわしは必要であります

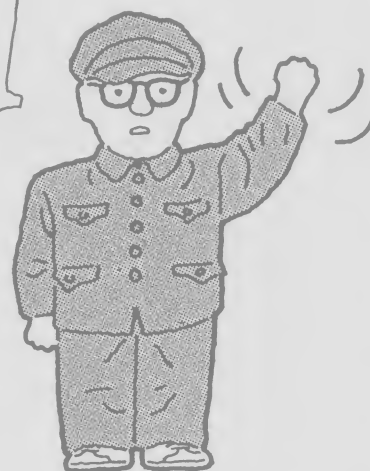
お婆さんと共闘を組んでくれるのは先ず同じ雑院の徐珊とゆうおばさんです。この人は四十歳くらいなのに子供がいなくて御主人も遊び好きで家に居つかないので可愛想な人なんですがいつも他人の悪口ばかり言ってその上

とありふれた自画自賛をやってくれるのでつまらなくて近所の人からはあまり同情されません

同じ雑院からはもう一人たのもしい論客を味方につけることが出来ました。朱さんの娘さんで大学に通って三八四一兵団とゆう紅衛兵造反組織に入っている芳さんです

朱芳さんは最初お婆さんが嫁の悪口言ったりするのを馬鹿にしていましたが朱芳さんのボーイフレンドが彼女の家へ遊びに来た時、美玲さんを見て「きれいな人だね」と言ってから美玲さんを階級敵とみなすようになりました

中学生の紅衛兵も入手することができました。他の雑院の知り合いが中学校の先生をしているので二、三人融通してもらう約束をとりつけたのです

ただ生徒の告発で先生が糾弾されるとゆうのはとても良くあることなのでくれぐれも中学生紅衛兵の機嫌をそこねないようにとの条件付きです

その他にいつも井戸端会議で美玲さんの議題をとりあげてる仲良し三人組のおばさん達も参加してくれることになりました

米帝国主義を打倒せよ
ソ連修正主義を打倒せよ

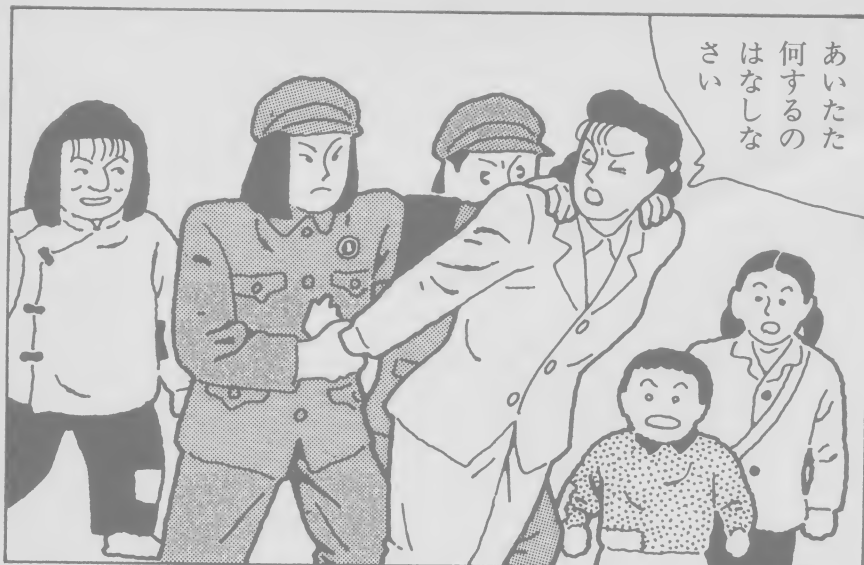
中国とアルバニアの友好は永遠なり
中国とベトナムは山連なり水連なり

それから裏側の雑院でちょうど美玲さんと志海さんの部屋の窓と向かい合った部屋にいる馬さん宅の中学生も志願してくれました

この中学生、小馬は窓が向かい合っているのを良いことに夏の暑い日などは時々美玲さんの着替えを覗き見して怒られたことがあるのです

とりあえずこれくらい居れば後はヤジウマが盛り上げてくれるでしょう。準備は出来ました。都合の良いことに志海さんはいつも職場の近くの食堂を利用し美玲さんの職場は家の近くなのでお昼に帰ってくるのです

当日の前の晩、お婆さんはドキドキして良く眠れませんでした。朝は朝で志海さんが出かける前にみんなが来たらどうしようかと心配しました

でも結局予定通りにお昼で美玲さんが帰って来た時に二人の中学生紅衛兵が家の中に入ってきました

中学生紅衛兵は美玲さんの腕をつかんで大通りまで出ていきました。それを合図に徐珊さんや小馬も部屋から出て来て紅衛兵の後をついて行きました

大通りにはすでに朱芳さんが立っていて美玲さんが連行されると他のみんなも集まって輪が出来たのですが、あんまりちゃんと段取りしてなかったので初めはみんな黙ってました
それで美玲さんが怒って

それで美玲さんが怒って

と抗議したので朱芳さんが批判集会の開会を宣言しました。さすがに朱芳さんは慣れてる感じでみんなはホッとしました

確かに証拠はないのです。でも美玲さんが反駁したことでみんな闘志が出てきました。紅衛兵に糾弾されてるのに逆らうなんて生意気だと思うようになりました

徐珊さんの発言で美玲さんはお婆さんが告発したのではないかと気付きました

だいたいおまえは
毛首席の発動
した文化大革命
をなんだと
思ってる
のか
そんな風に
髪の毛を長く
して束ねもしない
で男の気をひいたり
するのは堕落
した資本主義
社会の女の
することだ

美玲さんはこの場に味方が一人もいない
と知って抵抗する気力も失ってしまいま
した

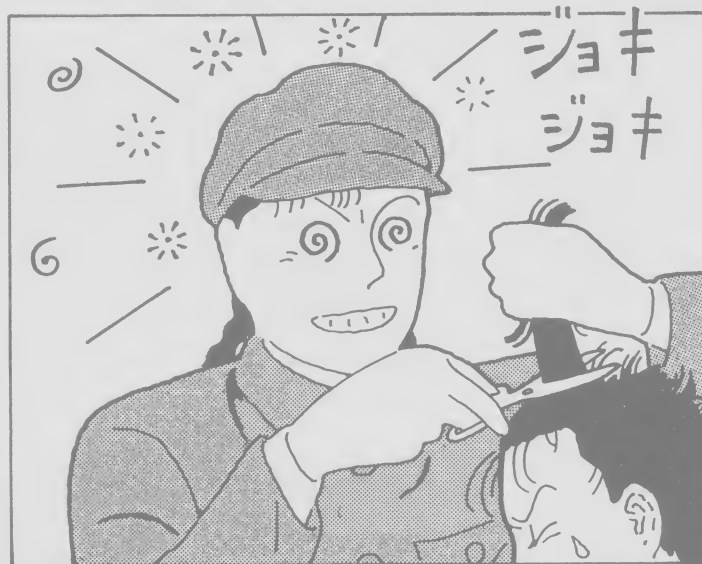
百歩ゆずって
おまえが国民党
の特務でない
としても
おまえが
走資派である
ことは誰の眼
にも明らか
だぞ

そうだこいつは
息子の嫁のくせ
にいつも近所
の男に色眼
使ってる
んだ

そうだそうだ
髪の毛伸して
おさげにして
男達に若く
見せようと
してるんだ
クネクネ
キッ

徐珊さんの発言は美玲さんより朱芳さんを怒らせました

朱芳さんの徐珊さんに対する怒りは美玲さんへと向けられました

朱芳さんは始めはおかっぱくらいの長さに切るつもりでしたがみんながもっと切れとゆうのでひっこみがつかなくなりました

紅衛兵より大衆の方がラジカルとゆうのではかっこうがつきません。朱芳さんは負けるものかとゆう気持ちで美玲さんの上の方の髪もざくざくと切り出したのです

夢中で切っているうちになにか変な気分になってきました

無慚な虎刈りヘアーになった美玲さんが恨みのこもった眼差しでお婆さんを見るとお婆さんも再度闘志がわいてきて言いました

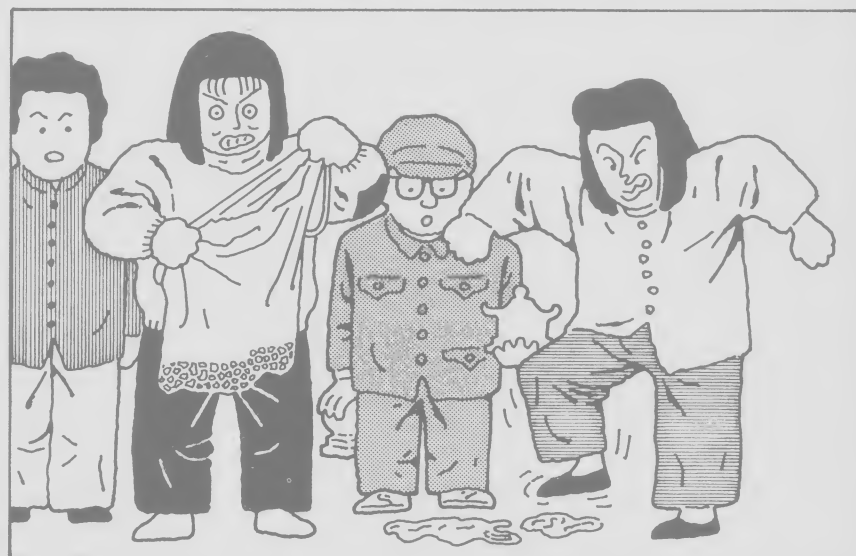
小馬が駆け出したあとにおばさん達も続きました。ひとの家の持ちものを堂々とひっかきまわして調べられるチャンスはなかなかありません。そんな楽しみを紅衛兵に独占させておくのは損です

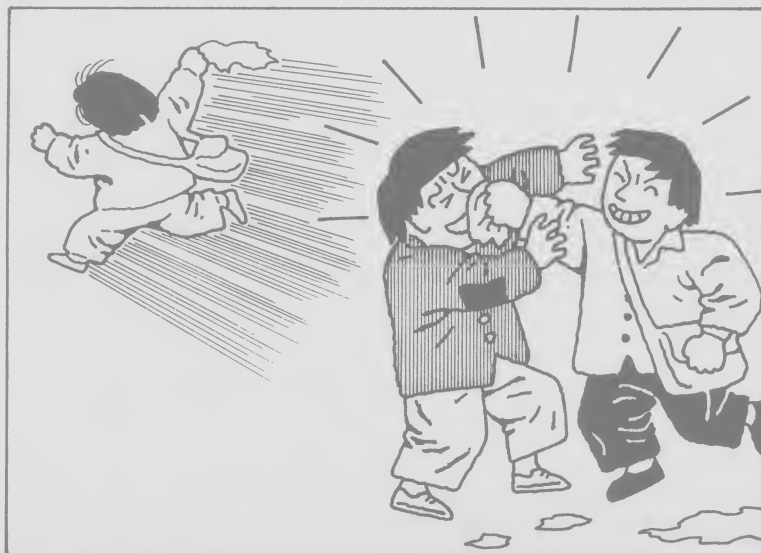
人垣のうしろの方で男の声がしてみんなはドッと笑いました。朱芳さんは自分が笑われたような気になってまたすごく腹がたちました

美玲さんが志海さんを裏切って複数の男達と関係を持っているような言いかたを朱玲さんがしたのでお婆さんもまたまたさらに怒りがつのってきました

お婆さんは自分と息子が美玲さんと同類と思われたくないために朱芳さん以上にたくさんのビンタを美玲さんにしたうえ唾もはきました

小馬と二人のおばさんが帰ってきて摘発した証拠品を高々とさしあげてみんなに見せました

朱芳さんはおばさんの持っていたズロースをひったくって鋏でビリビリに引き裂きました

二人のおばさんも負けじとブラジャーや下着類を裂いたり足で踏んだりしました
他のおばさん達は自分が欲しいと思ったけど言えない悔しさで同じように裂いたり踏んだりしました

子供達はズロースの切れ端をひろって他の子供の顔へ押しつけたりしてふざけました

女の子達はネグリジェやスリップのレースの部分をひろって走って行きました

小馬がみんなに見せたのは手のこんだ石の細工の置物でした。石の中をくりぬいて中に鳥や人を閉じ込めてあるような職人芸的なものでとても高そうな工芸品でした。お婆さんは顔が青くなりました

朱芳さんはその置物を地面に叩きつけました。石の置物ですが細工が細かいので二度めに叩きつけた時に割れて中の鳥や人が解放されました

みんなが壊れた石の置物を見ていた時、美玲さんの腕を押さえてた中学生紅衛兵が小馬のポケットからはみ出ている青いものを発見しました

それは美玲さんのズロースでした。捜索している時に盗んでポケットに隠しておいたのでした

小馬は逃げて帰りましたが朱芳さんは中学生を堕落させた実例がここにあると言ってまた美玲さんを糾弾しようとしました。でもお婆さんがわめきながら美玲さんの顔をかきむしっているので逆に助けなければなりませんでした。二人のおばさんも美玲さんの下着を取っていたので逃げるように帰りました。ヤジウマも少しずつ減って集会は終わったのでありました

完